

槻木まちづくり研究会

第3回報告

■ 次第

※開会前1時間に希望者でまち歩きを実施

- ▶ 開会 10:00～
- ▶ あいさつ(柴田町まちづくり政策課長) 10:00～
- ▶ まち歩き点検の振り返り 10:05～
講師:宮城大学地域連携センター
地域振興事業部長 古川 隆 氏
- ▶ グループワーク(3グループに分かれて) 10:25～
- ▶ グループ発表とアイデアへの期待度 11:35～
- ▶ その他※素案づくりのための起草委員をグループから2名選出 12:00～
- ▶ 閉会 12:00

研究会の進行イメージ



※スケジュールは進捗状況により変更もありますのであらかじめご承知ください。

■まち歩き点検の振り返り

- ▶ 「つきのき」という木がある。名取用水沿いにたくさんあり、それが槻木の由来。名取用水整備のためにすべて伐採されてしまった。(槻木＝ケヤキの古称)
- ▶ 駅や学校に著名な彫刻家、小室達氏の作品が点在しているが、生かしきれていない。
- ▶ 槻木大橋が開通し、イノシシが沿岸から内陸に移り、生息するようになったと言われている。
- ▶ 線路をはさんで、大きく様子がちがう。東は昔からのまち並みで路地が多く、空き店舗が増えている。西は新興住宅地(ベッタウン)で若い世代が住んでいる。
- ▶ 山沿いには海岸線の跡があり、貝塚も6カ所ある。

■ 第3回研究会の進め方

- ▶ 第1回、第2回で話し合った課題や将来像をもとに、具体的に「こういうまちにしたい」ということを実現するための取り組みを考えて、それを「取組アイデアシート」にまとめていきます。
- ▶ まずは、前回話し合った将来像から、どういうまちにしたいかを一言で表現していただき、その後、取組アイデアをどんどん出して【目的・手段・方策】を整理します。
- ▶ グループ内で取り組みごとに期待度を評価し、全体発表後、他のグループからも評価を受けます。

研究会のメンバー構成

Aグループ	Bグループ	Cグループ
【出席者】 加藤 久美子 さん 鉛 和子 さん 伏見 幸陽 さん 加藤 美月 さん 高橋 良知 さん	【出席者】 村上 久美子 さん 山下 利一 さん 青柳 淳子 さん 吉田 志朗 さん 水戸 祥子 さん	【出席者】 加藤 正光 さん 齋藤 由紀 さん 森 裕樹 さん 熊谷 正和 さん
【欠席者】 志子田 清蔵 さん 高橋 英嗣 さん 佐藤 玲 さん 太田 正孝 さん	【欠席者】 高橋 健 さん 遠藤 広夢 さん 阿部 美里 さん 高橋 まり さん	【欠席者】 松田 ゆう子 さん 平間 幸雄 さん 猪股 晃希 さん 大久保 茜 さん 加茂 優希 さん

■Aグループまとめ

将来像: 笑のお茶のみ場

目的	手段	推進方策	グループの期待度	他のグループの期待度
地域をつなぐ 誰でも集まれる場所をつくる	駅や駅周辺の 空き店舗などを活用する	お茶が飲める	1	1
		地域情報の発信	3	4
		槻木の就職情報	4	4
		農村との交流	1	3
		産直(試食)	2	1
		昔の遊び伝承	4	4
		工芸品の展示	2	2
		高齢者の健康相談	3	3

※期待度が高い順に1から表示しています

取組アイデアシート Aグループ

グループで考えた将来像: 笑のお茶のみ場

目的 (何を解決したいか)	手段 (取組アイデア)	推進方策 (地域資源の活かし方)	グループ (期待度)	全体 (期待度)
お茶が飲める	喫茶 居場所 待合室 事務所	お茶の飲み場	10000	00000
地域情報の発信	お茶(パン) 案内 情報 喫茶 喫茶 情報の発信	お茶の飲み場	200	00000
文化 昔の遊び	産直 産直 産直 産直 産直	産直 産直 産直 産直 産直	30	00000
産直	産直 産直 産直 産直 産直	産直 産直 産直 産直 産直	40000	00000
お茶のみ場	お茶のみ場 駅 空き店舗	お茶のみ場	5000	00000
	お茶のみ場	お茶のみ場	60	00000
	お茶のみ場	お茶のみ場	7000	00000
	お茶のみ場	お茶のみ場	800	00

■Bグループまとめ

将来像：**人がつどう住み続けたいまち**

目的	手段	推進方策	グループの期待度	他のグループの期待度
産業の活性化	ゆず・竹・農産物などの活用（加工・販売）	加工場と販売施設の整備（法制度活用）	1	2
文化財を活用したまちづくり	6貝塚・十二神将などの文化財を活用	体験学習、学芸員の配置	2	1
このまちを知ってもらおう	掲示版・案内板の整備、ボランティア募集	自給自足の体験、高齢者の知恵を活用	2	3
地域整備	人が集う場所・お祭り、交通の整備	田畑を活用したどろんこバレーボールと自転車	2	4

※期待度が高い順に1から表示しています



■Cグループまとめ

将来像: **人と人がつながる元気な槻木**

目的	手段	推進方策	グループの期待度	他のグループの期待度
子どもを中心とした交流の場づくり	あいさつから地域を元気に			
スポーツ大会の開催(3校交流)	各行政区からお父さん世代が集まり話し合える場を作る(おやじの会)	葛岡公園や農村環境改善センターを活用	1	2
祭りの開催(メタセコイアの奇跡のほかに)				
子どもたちに地域の魅力を伝えたい	ウォークラリーやキャンプの実施(里山)	自然体験や農業体験、地元企業の見学	2	1

※期待度が高い順に1から表示しています



■ 槻木まちづくり構想素案作成

- ▶ 次回までに、槻木まちづくり構想の素案を作成します。各グループから起草委員を2名選出し、ご意見をいただきます。

Aグループ 加藤 久美子さん・佐藤 玲さん

Bグループ 村上 久美子さん・吉田 志朗さん

Cグループ 齋藤 由紀さん・森 裕樹さん

■ 次回の研究会開催日程

- ▶ 第4回 11月8日(土) 午前10時から
槻木生涯学習センター3階 会議室2